

株式会社キグチテクニクス

■事業

航空機海外主要メーカーとの直接取引実現に向けた
製造現場のIT化事業

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

工場・生産現場管理・集計システム「ms-Machine monitor（マシモニ）」

経営理念

物づくりの安全・安心を担う それが私たちの使命

試験、熱処理、疲労試験など業務の幅を拡大
外国の航空機、自動車メーカーから受注

国内最大級の独立試験場として材料の品質や性能評価を行う安来市の株式会社キグチテクニクス。創業は1961(昭和36)年。木口寿初代社長が木口研磨所として従業員6人でスタートし、大手の顕微鏡ミクロ検査用試料の研磨を行った。1971(昭和46)年に株式会社化し、1984(昭和59)年に現在地に移転したのを機に木口重樹3代目社長が就任した。1991(平成3)年に現社名に変更したが、前後して調整、試験、熱処理、腐食試験、疲労試験など業務の幅を広げた。

取引先も国内はもとより海外メーカーから受注を得るため、JISQ9100(航空、宇宙、防衛産業向けの特有な事項をプラスした品質マネジメントシステム)、Nadcap(ボーイング、エアバス、GEなどが参加する品質保証、特殊工程のプログラム)などの国際規格の認証取得をはじめ、GE、ロールスロイスなどからは企業独自の認定を受けた。また、関東、関西、中部に事業所を開設し、迅速な対応に努めている。グローバルな認証取得、認定戦略が優れ、優秀な企業との取引が拡大したことなどから中国ニュービジネス大賞、ニッポン新事業創出大賞優秀賞などを受賞している。

IT化を自動化工程と連動させるつなぎ役とし
さらなる作業効率の向上、時間短縮の拡大を図る

万全な品質管理体制などが評価され、海外メーカーとの取引も多いが、海外の航空機メーカーとの直接取引を見据え、本事業を活用し従来の手作業による生産管理をIT化による一元管理へと改革を進めた。

生産現場管理、集計システムのIT化推進は、データボードでの稼働監視スケジューラーによる「見える化」を実現。日々の機械の稼働状況が一目で分かり、過密時間、空き時間などを把握できることから、各機械の稼働を平均化させ、受注キャバが増加した。また、機械に作業員が張り付いている必要もなく、労務の改善にもつながった。2019(令和元)年に新工場を立ち上げ、試験片製作をアームロボットや複合加工機を用い自動化したが、本事業をつな



代表取締役 木口貴弘



- 1 データボードによる見える化の実現
- 2 自動で部品を完成させるアームロボット
- 3 自動化に対応して導入した複合加工機



ぎ役とし、自動化工程と連動させることで、さらなる作業効率の向上、時間短縮の拡大などにつながっている。

島根大学の次世代プロジェクトに参画
特殊鋼加工技術の企業グループとも連携

2017(平成29)年は島根大学と包括協定を締結し、共同研究などを実施。2019年(令和元)年には島根大学に設けられた「先端金属系素材グローバル拠点の創出一次世代TATARAプロジェクト」に参画し、新素材の超合金の研究などに取り組んでいる。航空機産業を目指す特殊鋼加工技術を中核とする企業グループ「SUSANO O(スサノオ)」などにも参画し、産官学、企業間の連携を深めている。

2021(令和3)年の創業60周年を機に、翌年には4代目の木口貴弘社長が就任した。「社員が安心して働ける会社づくり」をモットーに、高齢者の再雇用、女性社員の増加などを推進している。定年は65歳だが、再雇用の年齢に上限はなく、現在76歳の社員が働いている。女性はようやく全社員の1割程度に達したばかりで将来的には2、3割に引き上げる方針。70周年に向け、社員は200人から220人に、年商は35億円から50億円を目標にしており、木口社長は「現在、詰めの段階まできている新規事業が軌道に乗れば、実現も可能」と夢を膨らませる。

Company Data

株式会社キグチテクニクス



本社外観

代表者名: 木口 貴弘
 創立年: 1961(昭和36)年
 資本金: 15,000千円
 従業員数: 187名
 主たる業種: 技術サービス業
 本社: 〒692-0057 安来市恵乃島町114-15
 電話: 0854-22-2619
 FAX: 0854-23-0869
 URL: <https://www.kiguchitech.co.jp/>